

屋根用高日射反射率(遮熱)塗料用下塗材

アレスクールメタルプライマー

系 統 弱溶剤1液変性エポキシ樹脂屋根用高日射反射率(遮熱)さび止め塗料

適用規格 —

ホルムアルデヒド放散等級 —

特 長

- 1) アレスクールシリーズの専用プライマーで、上塗りを透過した赤外線効率よく反射します。
- 2) アレスクールの赤外線反射システム「Wブロック効果」を有しています。
- 3) 1液速乾形であり、作業効率が良好です。
- 4) ターペン希釈が可能で、旧塗膜適性が広いです。
- 5) 有害な鉛を含まないさび止め塗料です。
- 6) JIS K 5625と同等以上の防錆力があります。
- 7) 低臭気で塗装作業性に優れています。

塗装条件

塗装方法	は け	ローラー	エアレススプレー		
希 積 率	0~10%	0~10%	5~15%		
標準所要量 (kg/m ² /回)	0.13	0.13	0.17		
希 積 剤	塗料用シンナーA				

注) 標準所要量は、個々の条件によって異なります。
標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。

塗装間隔

		温 度	23℃	
標準塗装間隔	最 短	4 時間		
	最 長	7 日		
使用時 限		—		

塗料性状

項 目	内 容
1 荷 姿	16kg
2 混 合 比	—
3 色	白
4 つ や	つや消し
5 仕 上 ぎ 感	平 滑
6 塗 料 比 重	1.49
7 溶 剤 比 重	0.82
8 加 熱 残 分	71%
9 劇 物 表 示 (品名・含有量)	—
10 労 安 法 上 の 表 示 有 害 物	メタノール イソプロピルアルコール キシレン エチルベンゼン イソブチルアルコール
11 有 機 則 / 特 化 則	第2種有機溶剤等
12 消 防 法 に よ る 危 険 物 区 分	第4類 第2石油類(非水溶性)
13 硬 化 剤 の 成 分 に よ る 区 分	—

主な適用素材
鉄、トタン

主な適用下塗塗料

主な適用中塗塗料

主な適用上塗塗料

アレスクール1液Si、アレスクール2液U、アレスクール2液Si、アレスクール2液F

使用上の注意事項

- 1) 標準所要量は一般的な条件での塗装作業に必要な塗料の参考値です。従って被塗物の形状や塗装条件などによって、増減します。
- 2) 沈降している場合がありますので、使用前に十分攪拌してください。
- 3) 下地調整が不十分な場合には、塗膜の膨れ・割れ・剥がれの原因となったり、光沢が出ないもしくは艶むらが発生するなど仕上がり不良が生じる恐れがあります。
- 4) ホコリ・油・樹液などは塗装前に溶剤拭き・水洗い(温水)等で十分に除去し、乾燥した清浄な面にしてください。特にトタンの折り曲げ部はホコリ・砂等が溜まりやすいので入念な清掃を行ってください。
- 5) 強風時や降雨の予想される日の塗装、および気温が5℃以下、湿度85%以上となる日の塗装は避けてください。
- 6) 他の塗料との混合は絶対に避けてください。
- 7) 希釈は必ず塗料用シンナーAを使用してください。
- 8) 品質が保持する塗膜性能を十分に発揮させるために、所定の塗り回数と膜厚確保による施工を行ってください。特に上塗り1回塗りでは十分に発色、隠ぺいしない場合や、遮熱・塗膜性能が発揮されない場合がありますので必ず2回塗り、標準塗装仕様(アレスクールシリーズ)を守ってください。
- 9) 塗装時や塗料取り扱い時は、換気を行ない火気厳禁として下さい。
- 10) はけ・ローラーなどの塗装用具は、ラッカーシンナーで洗浄して下さい。
- 11) コンクリート・モルタルなどのアルカリ性素材への塗装は避けて下さい。
- 12) 塗料が染み込んだウエスは必ず焼却するか、水の入った容器に入れて処理して下さい。
- 13) その他、塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細についてはSDS(安全データシート)を参照して下さい。

注) 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

※本製品説明書の内容には、予告なくして変更することがありますのであらかじめご了承ください。